



# ヴァルネラビリティと対話

1 day シンポジウム

参加費：無料

事前申し込み：不要

日時： 2019年2月19日(火) 10:00～17:00

場所： 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第2キャンパス F棟2階 257教室

プログラム：

10:00-11:00 「慢性疼痛の当事者研究－アートと対話の可能性」

稲原 美苗 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授)

11:00-12:00 「聴きあうことの手：対話を通じて苦悩する人をケアし、エンパワーメントするには」

高橋 綾 (大阪大学Coデザインセンター 特任講師)

休憩 (昼食) 1時間

13:00-14:00 「語れなかったことが語られるとき～障害者支援施設とがんカフェの実践から～」

松川 絵里 (哲学プラクティショナー)

14:00-15:00 「“声”について：対話するまえに、ヴァルネラビリティについて かんがえておきたいこと」

ほんま なほ (大阪大学Coデザインセンター 准教授)

15:00-16:00 「対話と哲学のナイーブさ」

中岡 成文 (一般社団法人哲学相談おんころ・代表理事)

全体討議 1時間

問い合わせ先： [minaeinahara@penguin.kobe-u.ac.jp](mailto:minaeinahara@penguin.kobe-u.ac.jp) (担当：稲原美苗)

主催：科研費による研究プロジェクト「哲学的当事者研究の展開：重度・重複障害者と慢性疼痛患者のコミュニケーション再考」16K02120

共催：神戸大学大学院人間発達環境学研究科 ヒューマン・コミュニティ創成研究センター (ジェンダー・コミュニティ支援部門)